

令和二年三月十日受領
答弁第八八号

内閣衆質二〇一第八八号

令和二年三月十日

内閣総理大臣 安倍 晋 三

衆議院議長 大島 理 森 殿

衆議院議員丸山穂高君提出スマートシティ構想に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員丸山穂高君提出スマートシティ構想に関する質問に対する答弁書

一について

お尋ねについては、網羅的には把握していないが、例えばシンガポールにおいて、国全体にセンサ・ネットワークを張り巡らし、IoTとデータ技術を駆使したスタートアップ創出エコシステムに基づく政府プロジェクト（スマートネーション構想）を進めており、その一環として、国土を全て3Dモデル化する「バーチャル・シンガポール」を進めていると承知している。

二について

お尋ねの「これまでどのような支援を行ってきたのか」については、平成三十一年二月に「イノベーション政策強化推進チーム」の設置について」（平成三十年七月二十七日統合イノベーション戦略推進会議決定）に基づき設置されたイノベーション政策強化推進チームの下に関係府省庁の課長・企画官相当職の職員等により構成されるスマートシティタスクフォースを設置し、スマートシティ事業における関係府省庁間の連携等を推進するとともに、令和元年八月に関係府省庁の実施するスマートシティ推進に資する事業に取り組む団体、関係府省庁等を会員とするスマートシティ官民連携プラットフォームを設立し、会

員等間の課題・研究・技術・開発等の情報共有、相互啓発、連携強化に関する活動等を実施してきたところである。

また、お尋ねの「更なる体制強化」については、現時点において予定していないが、引き続き、これらの体制を活用し、スマートシティの取組を推進してまいりたい。

三から五までについて

御指摘の「「ウーブン・シティ」計画」の詳細が明らかではないため、現時点において、お尋ねの「更なる取組み」及び「新たな法整備や規制緩和等」の「対応」についてお答えすることは困難である。